## 平成24年度

# 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

【争未则似安(争未为					
<b>東紫花来</b> 見	1473601027	事業の開始年月日	平成17年	平成17年9月1日	
事業所番号	1473601027	指定年月日	平成17年	E9月1日	
法 人 名	株式会社 アイシマ				
事 業 所 名	グループホーム あん	ず			
所 在 地	( 245-0008 ) 横浜市泉区弥生台45-4				
サービス種別	□ 小規模多機能型	居宅介護	登録定員 通い定員 宿泊定員	名 名 名	
定員等	■ 認知症対応型共	司生活介護	定員 計 エニット数	18 名     2 エット	
自己評価作成日	平成24年9月25日	評 価 結 果 市町村受理日	平成24年	12月13日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 http://www.kaigokensaku.jp/14/index.php?action kouhyou detail 2011 022 kani=truekligyosyoCd=1473601027-00&PrefCd=14&VersionCd=022

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

駅からも近く、緑豊かな住宅街の一角にあり四季を肌で感じることができます。スタッフも皆、明るく元気です。一人ひとりの「今」を大切に思い支援し、個別支援に取り組んでいます。また、地域の方々との交流もあり、地域住民の一人として生活できる環境にあります。法人内の連携も取れ、医療面では訪問看護師、訪問歯科、内科、精神科の協力医療機関の方々とも連携がとれ24時間安心して生活することができます。

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所 在 地	251-0024 神奈川県藤沢市鵠沼橘1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成24年10月27日		

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所は、相模鉄道いずみの線「弥生台」から徒歩10分の住宅地の中に位置し、 その周辺には樹木の繁った小高い丘が連なり、自然豊かな環境にあります。 <優れている点>

高齢者向けの介護事業を展開する法人が中心となり、研修会や検討会議を定期的に 開き、現場職員との意思疎通を図っています。

事業所では、毎月のカンファレンスやユニット会議には全職員が出席できるように取り計らい、年度の方針や業務の見直しなどを全員で検討しています。

職員は利用者の経験を生かし、そのペースを尊重しながら共に会話を楽しみ、そこでの「つぶやき」を拾うことで利用者の思いや意向の把握に努めています。把握した思いは全職員で共有し、昨年度は個別に、利用者の行きたいところに同行支援し喜ばれています。今年度は1台のバスを利用して一つ屋根の下に暮らす仲間として、全員参加の外出を計画しています。

#### <工夫点>

庭にミニチュアの水車や畑コーナーを配し利用者に憩いの場を提供しています。 毎朝のラジオ体操や、散歩、車いすから居間の椅子への移乗、家事の手伝いなど出 来る範囲で行い、筋力の低下、平衡感覚の悪化予防等に努め、身体機能の維持を 図っています。いつまでも自分の力で食事が取れるように、調理方法や食器の形状 に気を配っています。

# 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

	評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
Ι	理念に基づく運営	1 ~ 14	$1 \sim 7$
II	安心と信頼に向けた関係づくりと支援	$15 \sim 22$	8
Ш	その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	$23 \sim 35$	9 ~ 13
IV	その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	$36 \sim 55$	$14 \sim 20$
V	アウトカム項目	$56 \sim 68$	

事業所名	グループホーム	あんず
ユニット名	ゆめ	

V	V アウトカム項目					
56			1、ほぼ全ての利用者の			
	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向 を掴んでいる。	0	2, 利用者の2/3くらいの			
	を掴んでいる。 (参考項目:23, 24, 25)		3. 利用者の1/3くらいの			
			4. ほとんど掴んでいない			
57		0	1, 毎日ある			
	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。		2,数目に1回程度ある			
	のる。 (参考項目:18, 38)		3. たまにある			
			4. ほとんどない			
58	利田孝は、よれよりのペーフで茸としてい		1, ほぼ全ての利用者が			
	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしてい る。	0	2, 利用者の2/3くらいが			
	(参考項目:38)		3. 利用者の1/3くらいが			
			4. ほとんどいない			
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとし		1, ほぼ全ての利用者が			
	た表情や姿がみられている。 (参考項目: 36,37)	0	2, 利用者の2/3くらいが			
			3. 利用者の1/3くらいが			
			4. ほとんどいない			
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけてい		1, ほぼ全ての利用者が			
	る。	0	2, 利用者の2/3くらいが			
	(参考項目: 49)		3. 利用者の1/3くらいが			
			4. ほとんどいない			
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な	0	1, ほぼ全ての利用者が			
	く過ごせている。		2, 利用者の2/3くらいが			
	(参考項目:30,31)		3. 利用者の1/3くらいが			
			4. ほとんどいない			
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟	0	1, ほぼ全ての利用者が			
	な支援により、安心して暮らせている。		2, 利用者の2/3くらいが			
	(参考項目:28)		3. 利用者の1/3くらいが			
			4. ほとんどいない			

63			
0.5	職員は、家族が困っていること、不安なこ		1, ほぼ全ての家族と
	  と、求めていることをよく聴いており、信頼	0	2, 家族の2/3くらいと
	関係ができている。		3. 家族の1/3くらいと
	(参考項目:9,10,19)		4. ほとんどできていない
64			1, ほぼ毎日のように
	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。		2, 数日に1回程度ある
	(参考項目:9,10,19)		3. たまに
			4. ほとんどない
65		0	1, 大いに増えている
	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、		2, 少しずつ増えている
	事業所の理解者や応援者が増えている。		3. あまり増えていない
	(参考項目:4)		4. 全くいない
66		0	1, ほぼ全ての職員が
	裁員は、活き活きと働けている。 (参孝項目・11,12)		
	職貝は、店さ店さと側げている。   (参考項目:11,12)		2, 職員の2/3くらいが
			2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが
67	(参考項目:11,12)		3. 職員の1/3くらいが
67	(参考項目:11,12)	0	<ol> <li>職員の1/3くらいが</li> <li>ほとんどいない</li> </ol>
67	(参考項目:11,12) 職員から見て、利用者はサービスにおおむね	0	<ol> <li>職員の1/3くらいが</li> <li>ほとんどいない</li> <li>はぼ全ての利用者が</li> </ol>
67	(参考項目:11,12) 職員から見て、利用者はサービスにおおむね	0	<ol> <li>職員の1/3くらいが</li> <li>ほとんどいない</li> <li>ほぼ全ての利用者が</li> <li>利用者の2/3くらいが</li> </ol>
67	(参考項目:11,12) 職員から見て、利用者はサービスにおおむね 満足していると思う。	0	<ol> <li>職員の1/3くらいが</li> <li>ほとんどいない</li> <li>はぼ全ての利用者が</li> <li>利用者の2/3くらいが</li> <li>利用者の1/3くらいが</li> </ol>
	(参考項目:11,12) 職員から見て、利用者はサービスにおおむね 満足していると思う。	0	<ol> <li>職員の1/3くらいが</li> <li>ほとんどいない</li> <li>はぼ全ての利用者が</li> <li>利用者の2/3くらいが</li> <li>利用者の1/3くらいが</li> <li>ほとんどいない</li> </ol>
	(参考項目:11,12) 職員から見て、利用者はサービスにおおむね 満足していると思う。 職員から見て、利用者の家族等はサービスに		<ol> <li>職員の1/3くらいが</li> <li>ほとんどいない</li> <li>はぼ全ての利用者が</li> <li>利用者の2/3くらいが</li> <li>利用者の1/3くらいが</li> <li>ほとんどいない</li> <li>はぼ全ての家族等が</li> </ol>
	(参考項目:11,12) 職員から見て、利用者はサービスにおおむね 満足していると思う。 職員から見て、利用者の家族等はサービスに		<ol> <li>職員の1/3くらいが</li> <li>ほとんどいない</li> <li>はぼ全ての利用者が</li> <li>利用者の2/3くらいが</li> <li>利用者の1/3くらいが</li> <li>ほとんどいない</li> <li>ほぼ全ての家族等が</li> <li>家族等の2/3くらいが</li> </ol>

自	外		自己評価	外部評価	
己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
I	理	念に基づく運営			
1		○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念 をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実 践につなげている	実践に向け努力してきましたが、現状に即した理念 に変更を検討中です。	え作成した理念は、7年たった現在に引	
2		<ul><li>○事業所と地域とのつきあい</li><li>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</li></ul>	_ 1	と利用者が参加しています。地元ボラン ティアグループが来訪し、中学生の福祉 体験も受け入れています。第4日曜日を ホーム開放日とし地元住民の来訪を歓迎	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の 人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活か している	地域の方が気軽に立ち寄れるよう第4日曜日をホーム開放日としています。自治会行事、地域住民参加防災訓練、ホーム行事へのお誘い、運営推進会議を通して理解して頂いています。		
4		○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	3ヶ月に1回のペースで開催しています。情報交換や、要望・意見を頂き、ホーム改善に活かしていくように心がけています。12月は包括支援センターエリア内にある5ホーム、小規模居宅介護支援事業所1ヶ所で全体会を行っています。今年度は震災後の対策についての意見交換会をおこないました。	の事業所全体会と、年3回、運営推進会 議を開催しています。出席した自治会 長、民生委員から地域資源活用の申し出	
5		○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所 の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えなが ら、協力関係を築くように取り組んでいる	市・区の認知症高齢者グループホーム連絡会の参加 や、市・区主催の研修に参加しています。高齢支援 課、保護課に相談ししアドバイスを頂くこともあり	や申請、連絡業務等で連携を深めています。横浜市認知症高齢者グループホーム 連絡会や泉区のブロック会に参加する	

自	外		自己評価	外部評価	
己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
6		○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス 指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定 基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正 しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束を しないケアに取り組んでいる	会社全体の勉強会などで学んだり、身体拘束防止マニュアルを作成し、常に身体拘束しないケアに取り組んでいます。玄関は、訪問販売等不審な人も来た事があるので安全を保つためにも施錠しています。	内容と弊害について横浜市の研修や法人 主催の教育研修で学び熟知しています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	虐待防止マニュアル・接遇マニュアルを作成し防止に努めています。会社全体の勉強会や外部研修に交替で参加するなどして学ぶ機会を持ち意識づけを図っています。カンファレンスでは言葉使いチェック表も使用し、スピーチロック、日々のケアのあり方を話合っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後 見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関 係者と話し合い、それらを活用できるよう支援して いる	横浜市グループホーム連絡会等で行われる権利擁護 に関する研修に職員が参加できる機会を設けていま す。後見人制度を利用する方の入所を機に後見人制 度についてカンファレンスで勉強する機会を設けて います。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族 等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・ 納得を図っている	契約時には、退去を含め、ホームの考え方や取り組みについてご本人、ご家族に説明しています。医療連携体制についても説明し同意を得ています。なお、説明時には随時疑問に感じることを伺い、その都度説明をさせていただいております。後日疑問に思うことが出てきた場合でもその都度説明をさせて頂いています。		
10		<ul><li>○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに 外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映さ せている</li></ul>	重要事項説明書にホーム苦情相談窓口及び外部苦情申し立て機関の連絡先が記載されており、契約時に説明しています。家族会や面会時には、ご家族との何気ない会話から思いを汲み取り対応しています。また、日々の生活の中で表情や行動から入居者様の思いを把握できるよう努めています。	を聞くようにし、さらに年2回の家族会でも意見を聞き、運営に反映しています。利用者の意向は家族も後押ししてお	

自	外		自己評価	外部評価	
己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
11	7	<ul><li>○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案 を聞く機会を設け、反映させている</li></ul>	ホームカンファレンスで出た職員の意見·要望・課題等を、管理者が集約し、毎月1回ある幹部会議で提議し改善可能なところは職員に反映しています。 不定期ではありますが、部課長が直接、現場の意見を聞きカンファレンスに参加します。また、職員同士の日々の会話のなかから、意見を汲み取るように心がけています。	れ、実施に移したり、法人本部と調整しています。事業所の方針は職員と一緒に作り、自己評価も意見を出し合っています。緊急課題は法人幹部も出席して意見を出し合い、意思疎通を図っています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	研修や資格取得に向けて勤務調整を行う等、状況に 応じ個々の力を活かせる労働環境つくりに努めてい ます。季節の飾りつけ、行事担当を決め行っていた だき責任感や充実感を持って取り組んでいます。職 員間の親睦のために、会社として毎年職員旅行も企 画しています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と 力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保 や、働きながらトレーニングしていくことを進めて いる	毎年1回、幹部研修会があります。また、全職員対象の勉強会が毎月1回ありスキルアップに努めています。レポートは全員が提出しています。また、年1回パワーポイントを使用した事例検討発表会がありホーム全体で取り組みます。入職時には管理者がオリエンテーションを行ないます。外部研修にも参加できるように配慮しています。研修報告・資料は職員が閲覧できます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を つくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等 の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取 組みをしている	横浜高齢者グループホーム連絡会に加入し講演会・ 勉強会に参加しています。連絡会主催の交換研修に 参加し、他事業所とユニット単位で3日間の交換研 修を実施しています。泉区の連絡会に参加し交流を 図っています。また、運営推進会議を通じて包括支 援センターや他グループホームとの交流がありま す。同法人内のホームとの交流が図られています。		
П	安	心と信頼に向けた関係づくりと支援		,	
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	要望や疑問点は随時相談できる体制がとれています。また、入居前には、ご本人とご家族にホーム見学をしていただいています。入所初期段階では安心して生活できるよう不安の解消に努め、職員間で申し送っています。		

自	外		自己評価	外部評価	
己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っ ていること、不安なこと、要望等に耳を傾けなが ら、関係づくりに努めている	要望や疑問点は随時相談できる体制がとれています。入所初期段階では安心していただける様に、ご本人様の状況を細かく報告させていただいております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人やご家族の思い、状況等を考え可能な限り柔軟な支援をしています。場合によっては、病院など連携機関もある為、それらの利用も含めた対応を心がけています。		
18		<ul><li>○本人と共に過ごし支え合う関係</li><li>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</li></ul>	家事役割分担があり、生活場面の中において個々の 能力が発揮できるよう支援しています。人生の先輩 として教えて頂く事もたくさんあり、尊敬の気持ち を持って接しています。お互いに協力し合い、共に 生活を支えている関係作りをしています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本 人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えて いく関係を築いている	ご家族と一緒に法人内で行なわれるお祭りやホーム 行事の敬老祝賀会に参加し楽しんで頂ける機会を設 けています。来所時には近況報告をし、必要に応じ て電話での連絡をさせて頂き情報共有に努めていま す。気持ちが離れないように、面会のお願いをして います。		
20		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所と の関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時間の時間制限は設けていません。月に1回は 遠方から面会にこられたり、電話で話をされる方 や、昔からの友人が遊びに来られる方もいます。	日常の会話から把握しており、なんとなく出た名前から友達を見つけ繋げた事例もあります。個別希望に応えるよう、元住んでいた場所に出かけ付近の店に寄る利用者もいます。おやつの時間には、昔のことを話してもらうよう心がけています。	

自	外		自己評価	外部評価	
己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず に利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援 に努めている	一人一人役割分担があり、お互いに支え合うコミュニケーションが取られています。入居者様は1日の大半をリビングで過ごされているので、関係性には配慮して対応する事もあります。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の 経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所を検討する場合には、その後の行き先きも含め十分な話し合いができるようにしていきます。職員が面会に行き関係性を継続しています。近隣にお住まいの場合には、必要に応じて会社で運営している事業所の情報も提供し、在宅生活を支援できる体制が整っていることも伝えていきます。		
Ш	そ	の人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメン			
23		○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に 努めている。困難な場合は、本人本位に検討してい る。	散歩や入浴等リラックスした日々の関わりの中で、本人の言葉、行動、表情、体に入る力から意思や意向を把握するよう努めている。日常の記録に本人の言葉を残しています。意思疎通が困難な場合はご家族と協議し、最善策を取っていきます。	「今できる事」を目標に、居室担当制を 敷き、思いや意向の把握に努めていま	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環 境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努め ている	入居前の訪問調査や契約時に、本人やご家族、ケースワーカーに生活暦や趣味等の聴き取りを行うと共に、日々の話の中から伺う事もあります。その情報を職員間で共有しケアに活かせるようにしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力 等の現状の把握に努めている	表情や行動からご入居者様の意向を汲み取るように 心がけています。その生活状態を記録しており、2 4時間を通して職員間の申し送り等で状況の把握が されています。		

自	外		自己評価	外部評価	
己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
26		○チームでつくる介護計画とモニタリング本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の関わりの中でご本人やご家族思いや要望を聴き反映させています。また、カンファレンスを行い職員全員が情報や意見を出し合っています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個 別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践 や介護計画の見直しに活かしている	個人の生活記録に加え、ケースノートがあり気づきや課題点等を自由に記入できるようにしています。 職員全員が出勤時に確認し把握しています。ケアプラン見直しは各記録に基づいて行なっています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人やご家族の状況に応じて通院等必要な支援は 行なっています。また、入居者様の今一番したいこ とを支援し外食・買物等へ出かけています。レスト ラン風の音での月1回食事会・月2回の音楽療法も あります。また、会社の様々な事業所を組み合わせ て柔軟な対応が取れる体制も整っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握 し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮 らしを楽しむことができるよう支援している	自治会に加入しており、夏祭りや運動会、防災訓練に参加しています。地域の方々が席を用意してくださったり、介助をお手伝いして下さいます。大正琴等、地域の方がボランティアに来て下さっています。		
30		○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が 得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きなが ら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前のかかりつけ医を中心に考えながらも、内科と精神科の協力医療機関があり、ご本人やご家族の希望を聞き主治医を決めて頂いています。また、病状の変化により主治医の変更もでき、適切な医療が受けられる体制がとられています。	は、家族の付き添いが基本ですが職員が同行支援する事もあります。事業所の嘱	

自	外		自己評価	外部評価	
己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護ステーションとの契約に基づき日々の健康 管理をして頂いています。相談にのって頂いたり、 助言して頂く事もあります。また、24時間連絡体 制を取っていますので急変時等にも指示が受けら れ、協力医療機関とも連携体制が取れています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、 また、できるだけ早期に退院できるように、病院関 係者との情報交換や相談に努めている。又は、そう した場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っ ている。	入院医療機関の医師・看護師・相談員と話をする機会を作り、ご家族の意向も踏まえ、ホームでの生活が可能な段階で退院できるよう医療機関、ご家族と協議し決めます。		
33		○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段 階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でで きることを十分に説明しながら方針を共有し、地域 の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合における対応に係る指針を定められています。ご家族、主治医、訪問看護師、管理者で今後の医療方針について協議し、ご本人、ご家族の希望を尊重し、終末期に向けた医療の選択を行なっています。その方にふさわしい送りを心掛けています。	す。重度化した場合や終末期のあり方については、本人・家族と医師を交えて十分話し合い、それぞれの意向を確認しな	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は 応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力 を身に付けている	会社全体の勉強会や研修を通して「緊急時対応マニュアル」を作成し、いつでも職員が見れるよう事務所においてあります。泉区主催救命救急講習や防災訓練に参加しています。また、横浜市の防火安全研修にも参加しています。		
35		○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用 者が避難できる方法を全職員が身につけるととも に、地域との協力体制を築いている	自治会主催の防災訓練に参加しました。また、地域 住民参加の夜間想定防災訓練を消防署指導のもと実 施しました。自治会長はじめ地域住民5名の参加が あり、積極的なご意見を頂き、ハード面での改善は 進んでいます。ホーム職員は全員が参加していま す。備蓄品はホームで3日分、必要備品も準備され ています。法人で準備されています。	い、その内1回は消防署が立会いアドバイスをもらっています。参加した5名の 近隣住民からも貴重な助言を受け、いずれも即実行に移しています。食料、水、	

自	外		自己評価	外部評価				
己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容			
IV	V その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
36	14	<ul><li>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</li><li>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを 損ねない言葉かけや対応をしている</li></ul>	入職時やカンファレンスでプライバシー保護、個人情報の取り扱い、守秘義務等について説明し、職員の意識向上を図っています。また、日々の業務では周囲に配慮し、声の大きさに気をつけお互いに注意し合える環境作りをしています。会社全体の勉強会のテーマに上がることもあります。	シーの確保を徹底する重要性を職員は研修で学び、熟知しています。年2回「接遇チェックリスト」で自らを点検し振り返っています。日常では、互いに注意し合うほか、カンファレンスでも話し合っています。				
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己 決定できるように働きかけている	1日の生活の中では特に制限を設けず、入居者様の 意思を尊重し生活して頂いてます。日々の生活の中 では常に受容の態度で接し、ご本人の意思決定を待 ち物事をすすめています。					
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人 ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過 ごしたいか、希望にそって支援している	個々の状態に配慮し柔軟に対応しています。入居者様の「今」出来ること、「今」したいことを大切に した対応を心掛けています。					
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように 支援している	その日に着る服は、ご本人が決めています。自己決 定がしにくい方には職員が一緒に選んでいます。定 期的に訪問理容を利用しています。					
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好み や力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や 食事、片付けをしている	敷地内で野菜を育てており、その収穫を職員と入居 者様とで行なっています。献立についても相談し、 出来る範囲で対応し、食事形態をご本人に合わせて います。また、野菜の皮むき、味見、盛り付け、食 器拭き等をして頂いています。月1回、レストラン 風の音へ外食しに出掛けます。季節ごとの行事等で は普段と違った食事を楽しみます。	本です。食材は週2~3回近くのマーケットから買付け、食事当番が利用者の好みを聞き調理しています。利用者も出来る範囲で準備・後片付けに参加してい				

自	外		自己評価	外部評価	
己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確 保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じ た支援をしている	食事や水分の摂取量を毎日チェック表に記録し、体調管理に努めています。個々の状態に合わせた食事形態で提供しています。また、1週間の献立をもとに摂取カロリーの算出を依頼し、栄養バランスの把握にも努めています。週1回体重測定も実施しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人 ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをし ている	毎食後、口腔ケアを行っています。仕上げは職員が 介助し舌のケアも行なっています。就寝時は市販の 洗浄剤にて義歯の洗浄を行なっています。週1回歯 科往診があり口腔ケアを行っています。		
43		○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの 力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの 排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている		ら利用者の特性を把握し、主に時間で誘	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や 運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組ん でいる	起床後に全員に冷たい牛乳を飲んで頂いています。 炊飯時には、粉寒天を混ぜて炊いています。また、 散歩とはまちゃん体操は毎日の日課となっていま す。天候の悪い日には廊下歩きをしています。		
45		○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽 しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めて しまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	基本的には毎日の入浴となっていますが、ご本人様の希望で1日おきに入る方もいます。湯温や湯量も個々に合わせ対応しています。足浴等も取り入れています。また、ゆず湯や菖蒲湯等、季節を楽しんで頂いています。入浴が困難な場合、法人内の訪問入浴での対応も可能です。	意向を聞き、順番を決めて入浴しています。嫌がる方には、時間を置いたり職員 を変えたりして対応しています。衣服の	

自	外		自己評価	外部評価	
己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、 休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援し ている	就寝時間の設定はしておらず、個々のリズムに合わせています。日中、散歩やアクティビティー等を行い活動的に生活し、夕食後は穏やかな時間をもち、安眠へとつなげています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法 や用量について理解しており、服薬の支援と症状の 変化の確認に努めている	個人ファイルに、ご本人が内服している薬の説明書がファイルされ確認できます。薬の処方内容に変更があった場合、症状の変化などを観察、記録し、主治医に報告しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人 ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽し みごと、気分転換等の支援をしている	役割分担があり、張り合いを持って生活できるよう 支援しています。社歌に合わせ職員と唄ったり、 踊ったりし気分転換される方、月1回の通院時、売 店でアンパンとコーヒーを購入することを楽しみに している方、レストラン風の音での食事会、音楽療 法、送迎途中から見れる富士山の風景を心待ちにさ れている方がいます。		
49		○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している		め、近所の公園などに出かけています。 四季折々のドライブもあります。希望箇 所に出かける個別支援では、ズーラシア と回転ずし、自宅近くへのドライブ等で 昔を思い出し、会話がはずんでいます。	で出かけることを計画しており、ぜひ実施に移 し、皆さんで語り合う場
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解して おり、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持 したり使えるように支援している	おこづかいとしてホームでお金を預かっている方もいます。収支を記録しています。買物に一緒に出掛け、ご自分で会計することもあります。		

自	外		自己評価	外部評価	
己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙の やり取りができるように支援をしている	電話はかけたい時には、いつでもご利用できます。 入居者様へご家族より電話が入り話をされることも あります。遠くの家族から、毎年届く年賀状を楽し みにされている方や、家族に手紙を書かれる方もい ます。		
52		○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様の大半はリビングで過ごしているため、リビングの大きな窓から自然と光が入り、日光浴ができています。季節にあった題材を選ぶことで工作等の創作物から季節感を感じてもらえるよう工夫しています。玄関、リビングには季節の花を飾っています。	作った季節ごとの大作や利用者の似顔絵が張られ魅せられる空間になっています。和室では、洗濯物のたたみや昼寝の休憩所となっています。フロア間では階段を上がり降りして交流も行なわれています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用 者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫を している	共有空間には食席のほかソファーや和室があり入居 者様が思い思いの場所で過ごせるようにしていま す。テレビを観たり、新聞を読んだり、塗り絵や ゲームをしたり、窓際で日なったぼっこをしながら 外の風景を見ながら季節を感じている方、それぞれ の時間を過ごされています。		
54		○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている		通しのドアを空けて家族が泊まれる部屋	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかる こと」を活かして、安全かつできるだけ自立した生 活が送れるように工夫している	リビング、廊下には物を置かず車椅子の方が自操しやすいようにし、テーブル席は出入りしやすい場所にしています。台所の外に設けているシンクを使い入居者様と職員が向かい合い調理や野菜洗いをしています。トイレには手すりを増設しました。		

事業所名	グループホーム	あんず
ユニット名	かがやき	

V	V アウトカム項目					
56			1、ほぼ全ての利用者の			
	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向 を掴んでいる。	0	2, 利用者の2/3くらいの			
	(参考項目: 23, 24, 25)		3. 利用者の1/3くらいの			
			4. ほとんど掴んでいない			
57		0	1, 毎日ある			
	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。		2,数目に1回程度ある			
	(参考項目:18, 38)		3. たまにある			
			4. ほとんどない			
58	利田孝は、よれよりのペーフで茸としてい		1, ほぼ全ての利用者が			
	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしてい る。	0	2, 利用者の2/3くらいが			
	(参考項目:38)		3. 利用者の1/3くらいが			
			4. ほとんどいない			
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとし		1, ほぼ全ての利用者が			
	た表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	0	2, 利用者の2/3くらいが			
			3. 利用者の1/3くらいが			
			4. ほとんどいない			
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけてい		1, ほぼ全ての利用者が			
	る。	0	2, 利用者の2/3くらいが			
	(参考項目: 49)		3. 利用者の1/3くらいが			
			4. ほとんどいない			
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な	0	1, ほぼ全ての利用者が			
	く過ごせている。		2, 利用者の2/3くらいが			
	(参考項目:30,31)		3. 利用者の1/3くらいが			
			4. ほとんどいない			
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟	0	1, ほぼ全ての利用者が			
	な支援により、安心して暮らせている。		2, 利用者の2/3くらいが			
	(参考項目:28)		3. 利用者の1/3くらいが			
			4. ほとんどいない			

CO		1	
63	  職員は、家族が困っていること、不安なこ		1, ほぼ全ての家族と
	と、求めていることをよく聴いており、信頼 関係ができている。	0	2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
	(参考項目:9,10,19)		4. ほとんどできていない
64			1, ほぼ毎日のように
	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。	0	2,数日に1回程度ある
	(参考項目:9,10,19)		3. たまに
			4. ほとんどない
65		0	1, 大いに増えている
	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、		2, 少しずつ増えている
	事業所の理解者や応援者が増えている。		3. あまり増えていない
	(参考項目:4)		4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目:11,12)	0	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
	(2 ) (11, 12)		3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67			1, ほぼ全ての利用者が
	職員から見て、利用者はサービスにおおむね 満足していると思う。	0	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68			1, ほぼ全ての家族等が
	職員から見て、利用者の家族等はサービスに おおむね満足していると思う。	0	2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自	外		自己評価	外部評価	
己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
I	理	念に基づく運営			
1		○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念 をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実 践につなげている	ホーム理念は、地域密着型サービスを念頭において 考えました。理念をワーカー室や更衣室に掲示し、 実践に向け努力してきましたが、現状に即した理念 に変更を検討中です。		
2	2	<ul><li>○事業所と地域とのつきあい</li><li>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</li></ul>	自治会主催の夏祭り、運動会、公園清掃等に参加させて頂いています。また、自治会防災訓練では、炊き出しを住民の方々と一緒に行いました。大正琴ボランティアに来られる方は地域住民の方々です。敬老会には、ホーム行事に地域の方の参加も検討してほしいとの声を反映し、地域の方を招いての祝賀会を行ないました。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の 人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活か している	地域の方が気軽に立ち寄れるよう第4日曜日をホーム開放日としています。自治会行事、地域住民参加防災訓練、ホーム行事へのお誘い、運営推進会議を通して理解して頂いています。		
4		<ul><li>○運営推進会議を活かした取組み</li><li>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</li></ul>	3ヶ月に1回のペースで開催しています。情報交換や、要望・意見を頂き、ホーム改善に活かしていくように心がけています。12月は包括支援センターエリア内にある5ホーム、小規模居宅介護支援事業所1ヶ所で全体会を行っています。今年度は震災後の対策についての意見交換会をおこないました。		
5		○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議には、区の職員さんと地域包括支援センターの方が出席されて意見交換をしています。市・区の認知症高齢者グループホーム連絡会の参加や、市・区主催の研修に参加しています。高齢支援課、保護課に相談ししアドバイスを頂くこともあります。他区との連携もとっています。		

自	外		自己評価	外部評価	
己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
6		○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス 指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定 基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正 しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束を しないケアに取り組んでいる	会社全体の勉強会などで学んだり、身体拘束防止マニュアルを作成し、常に身体拘束しないケアに取り組んでいます。玄関は、訪問販売等不審な人も来た事があるので安全を保つためにも施錠しています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ 機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見 過ごされることがないよう注意を払い、防止に努め ている	虐待防止マニュアル・接遇マニュアルを作成し防止に努めています。会社全体の勉強会や外部研修に交替で参加するなどして学ぶ機会を持ち意識づけを図っています。カンファレンスでは言葉使いチェック表も使用し、スピーチロック、日々のケアのあり方を話合っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後 見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関 係者と話し合い、それらを活用できるよう支援して いる	横浜市グループホーム連絡会等で行われる権利擁護 に関する研修に職員が参加できる機会を設けていま す。後見人制度を利用する方の入所を機に後見人制 度についてカンファレンスで勉強する機会を設けて います。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族 等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・ 納得を図っている	契約時には、退去を含め、ホームの考え方や取り組みについてご本人、ご家族に説明しています。医療連携体制についても説明し同意を得ています。なお、説明時には随時疑問に感じることを伺い、その都度説明をさせていただいております。後日疑問に思うことが出てきた場合でもその都度説明をさせて頂いています。		
10		<ul><li>○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに 外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映さ せている</li></ul>	重要事項説明書にホーム苦情相談窓口及び外部苦情申し立て機関の連絡先が記載されており、契約時に説明しています。家族会や面会時には、ご家族との何気ない会話から思いを汲み取り対応しています。また、日々の生活の中で表情や行動から入居者様の思いを把握できるよう努めています。		

自	外		自己評価	外部評価	
己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
11	7	<ul><li>○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案 を聞く機会を設け、反映させている</li></ul>	ホームカンファレンスで出た職員の意見・要望・課題等を、管理者が集約し、毎月1回ある幹部会議で提議し改善可能なところは職員に反映しています。 不定期ではありますが、部課長が直接、現場の意見を聞きカンファレンスに参加します。また、職員同士の日々の会話のなかから、意見を汲み取るように心がけています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	研修や資格取得に向けて勤務調整を行う等、状況に 応じ個々の力を活かせる労働環境つくりに努めてい ます。季節の飾りつけ、行事担当を決め行っていた だき責任感や充実感を持って取り組んでいます。職 員間の親睦のために、会社として毎年職員旅行も企 画しています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と 力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保 や、働きながらトレーニングしていくことを進めて いる	毎年1回、幹部研修会があります。また、全職員対象の勉強会が毎月1回ありスキルアップに努めています。レポートは全員が提出しています。また、年1回パワーポイントを使用した事例検討発表会がありホーム全体で取り組みます。入職時には管理者がオリエンテーションを行ないます。外部研修にも参加できるように配慮しています。研修報告・資料は職員が閲覧できます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を つくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等 の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取 組みをしている	横浜高齢者グループホーム連絡会に加入し講演会・ 勉強会に参加しています。連絡会主催の交換研修に 参加し、他事業所とユニット単位で3日間の交換研 修を実施しています。泉区の連絡会に参加し交流を 図っています。また、運営推進会議を通じて包括支 援センターや他グループホームとの交流がありま す。同法人内のホームとの交流が図られています。		
П	安	心と信頼に向けた関係づくりと支援		-	
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	要望や疑問点は随時相談できる体制がとれています。また、入居前には、ご本人とご家族にホーム見学をしていただいています。入所初期段階では安心して生活できるよう不安の解消に努め、職員間で申し送っています。		

自	外		自己評価	外部評価	
己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	要望や疑問点は随時相談できる体制がとれています。入所初期段階では安心していただける様に、ご本人様の状況を細かく報告させていただいております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人やご家族の思い、状況等を考え可能な限り柔軟な支援をしています。場合によっては、病院など連携機関もある為、それらの利用も含めた対応を心がけています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家事役割分担があり、生活場面の中において個々の 能力が発揮できるよう支援しています。人生の先輩 として教えて頂く事もたくさんあり、尊敬の気持ち を持って接しています。お互いに協力し合い、共に 生活を支えている関係作りをしています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本 人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えて いく関係を築いている	ご家族と一緒に法人内で行なわれるお祭りやホーム 行事の敬老祝賀会に参加し楽しんで頂ける機会を設 けています。来所時には近況報告をし、必要に応じ て電話での連絡をさせて頂き情報共有に努めていま す。気持ちが離れないように、面会のお願いをして います。		
20		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所と の関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時間の時間制限は設けていません。ご家族とご 自宅に戻られたり、外食やお墓参り、旅行に行かれ る方、成年後見人様と外出される方、ご家族と電話 や手紙のやり取りをされている方がいます。		

自	外		自己評価	外部評価	
己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず に利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援 に努めている	一人一人役割分担があり、お互いに支え合うコミュニケーションが取られています。入居者様は1日の大半をリビングで過ごされているので、関係性には配慮して対応する事もあります。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関 係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の 経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所を検討する場合には、その後の行き先きも含め十分な話し合いができるようにしていきます。職員が面会に行き関係性を継続しています。近隣にお住まいの場合には、必要に応じて会社で運営している事業所の情報も提供し、在宅生活を支援できる体制が整っていることも伝えていきます。		
Ш	そ	の人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメン			
23		○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に 努めている。困難な場合は、本人本位に検討してい る。	散歩や入浴等リラックスした日々の関わりの中で、本人の言葉、行動、表情、体に入る力から意思や意向を把握するよう努めている。日常の記録に本人の言葉を残しています。意思疎通が困難な場合はご家族と協議し、最善策を取っていきます。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環 境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努め ている	入居前の訪問調査や契約時に、本人やご家族、ケースワーカーに生活暦や趣味等の聴き取りを行うと共に、日々の話の中から伺う事もあります。その情報を職員間で共有しケアに活かせるようにしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力 等の現状の把握に努めている	表情や行動からご入居者様の意向を汲み取るように 心がけています。その生活状態を記録しており、2 4時間を通して職員間の申し送り等で状況の把握が されています。		

自	外		自己評価	外部評価	
己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
26		○チームでつくる介護計画とモニタリング本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の関わりの中でご本人やご家族思いや要望を聴き反映させています。また、カンファレンスを行い職員全員が情報や意見を出し合っています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個 別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践 や介護計画の見直しに活かしている	個人の生活記録に加え、ケースノートがあり気づきや課題点等を自由に記入できるようにしています。 職員全員が出勤時に確認し把握しています。ケアプラン見直しは各記録に基づいて行なっています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人やご家族の状況に応じて通院等必要な支援は 行なっています。また、入居者様の今一番したいこ とを支援し外食・買物等へ出かけています。レスト ラン風の音での月1回食事会・月2回の音楽療法も あります。また、会社の様々な事業所を組み合わせ て柔軟な対応が取れる体制も整っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握 し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮 らしを楽しむことができるよう支援している	自治会に加入しており、夏祭りや運動会,防災訓練に参加しています。地域の方々が席を用意してくださったり、介助を手伝って下さいます。また、大正琴等、地域の方がボランティアに来て下さっています。		
30		<ul><li>○かかりつけ医の受診診断</li><li>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</li></ul>	入居前のかかりつけ医を中心に考えながらも、内科と精神科の協力医療機関があり、ご本人やご家族の希望を聞き主治医を決めて頂いています。また、病状の変化により主治医の変更もでき、適切な医療が受けられる体制がとられています。		

自	外		自己評価	外部評価	
己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護ステーションとの契約に基づき日々の健康 管理をして頂いています。相談にのって頂いたり、 助言して頂く事もあります。また、24時間連絡体 制を取っていますので急変時等にも指示が受けら れ、協力医療機関とも連携体制が取れています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、 また、できるだけ早期に退院できるように、病院関 係者との情報交換や相談に努めている。又は、そう した場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っ ている。	入院医療機関の医師・看護師・相談員と話をする機会を作り、ご家族の意向も踏まえ、ホームでの生活が可能な段階で退院できるよう医療機関、ご家族と協議し決めます。		
33		○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段 階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でで きることを十分に説明しながら方針を共有し、地域 の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合における対応に係る指針を定められています。ご家族、主治医、訪問看護師、管理者で今後の医療方針について協議し、ご本人、ご家族の希望を尊重し、終末期に向けた医療の選択を行なっています。その方にふさわしい送りを心掛けています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は 応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力 を身に付けている	会社全体の勉強会や研修を通して「緊急時対応マニュアル」を作成し、いつでも職員が見れるよう事務所においてあります。泉区主催救命救急講習や防災訓練に参加しています。また、横浜市の防火安全研修にも参加しています。		
35		○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用 者が避難できる方法を全職員が身につけるととも に、地域との協力体制を築いている	自治会主催の防災訓練に参加しました。また、地域 住民参加の夜間想定防災訓練を消防署指導のもと実 施しました。自治会長はじめ地域住民5名の参加が あり、積極的なご意見を頂き、ハード面での改善は 進んでいます。ホーム職員は全員が参加していま す。備蓄品はホームで3日分、必要備品も準備され ています。法人で準備されています。		

自	外		自己評価	外部評価				
己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容			
IV	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							
36		○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを 損ねない言葉かけや対応をしている	入職時やカンファレンスでプライバシー保護、個人情報の取り扱い、守秘義務等について説明し、職員の意識向上を図っています。また、日々の業務では周囲に配慮し、声の大きさに気をつけお互いに注意し合える環境作りをしています。会社全体の勉強会のテーマに上がることもあります。					
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己 決定できるように働きかけている	1日の生活の中では特に制限を設けず、入居者様の 意思を尊重し生活して頂いてます。日々の生活の中 では常に受容の態度で接し、ご本人の意思決定を待 ち物事をすすめています。					
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人 ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過 ごしたいか、希望にそって支援している	個々の状態に配慮し柔軟に対応しています。入居者 様の「今」出来ること、「今」したいことを大切に した対応を心掛けています。					
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように 支援している	その日に着る服は、ご本人が決めています。自己決定がしにくい方には職員が一緒に選んでいます。定期的に訪問理容を利用しています。毎日お化粧をされ、おしゃれを楽しまれる方もいます。					
40		○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好み や力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や 食事、片付けをしている	敷地内で野菜を育てており、その収穫を職員と入居 者様とで行なっています。献立についても相談し、 出来る範囲で対応し、食事形態をご本人に合わせて います。また、野菜の皮むき、味見、盛り付け、食 器拭き等をして頂いています。月1回、風の音へ外 食しに出掛けます。季節ごとの行事等では普段と 違った食事を楽しみます。					

自	外		自己評価	外部評価	
己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確 保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じ た支援をしている	食事や水分の摂取量を毎日チェック表に記録し、体調管理に努めています。個々の状態に合わせた食事形態で提供しています。また、1週間の献立をもとに摂取カロリーの算出を依頼し、栄養バランスの把握にも努めています。週1回体重測定も実施しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人 ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをし ている	毎食後、口腔ケアを行っています。仕上げは職員が 介助し舌のケアも行なっています。就寝時は市販の 洗浄剤にて義歯の洗浄を行なっています。週1回歯 科往診があり口腔ケアを行っています。		
43		○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの 力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの 排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表にて記録をとり、周期やパターンを 把握できるようにしています。 夜間と日中で対応を 変える等、個々に合わせた対応をしています。 行動 から把握できるよう観察を行なっています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や 運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組ん でいる	起床後に全員に冷たい牛乳を飲んで頂いています。 炊飯時には、粉寒天を混ぜて炊いています。また、 散歩とはまちゃん体操は毎日の日課となっていま す。天候の悪い日には廊下歩きをしています。		
45		○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽 しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めて しまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	基本的には毎日の入浴となっていますが、ご本人様の希望で1日おきに入る方もいます。湯温や湯量も個々に合わせ対応しています。足浴等も取り入れています。また、ゆず湯や菖蒲湯等、季節を楽しんで頂いています。入浴が困難な場合、法人内の訪問入浴での対応も可能です。		

自	外		自己評価	外部評価	
己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、 休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援し ている	就寝時間の設定はしておらず、個々のリズムに合わせています。日中、散歩やアクティビティー等を行い活動的に生活し、夕食後は穏やかな時間をもち、安眠へとつなげています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法 や用量について理解しており、服薬の支援と症状の 変化の確認に努めている	個人ファイルに、ご本人が内服している薬の説明書がファイルされ確認できます。薬の処方内容に変更があった場合、症状の変化などを観察、記録し、主治医に報告しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人 ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽し みごと、気分転換等の支援をしている	役割分担があり、張り合いを持って生活できるよう 支援しています。お手伝いを楽しむ方、ハーモニ カ、塗り絵、裁縫、編み物、広告でのゴミ箱作り 等,個々に合った楽しみ方をされています。		
49		○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけ られるよう支援に努めている。また、普段は行けな いような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけられるように支援し ている	買い物や外食等、個々の希望に合った外出支援をしています。また、レストラン風の音への食事会、音楽療法に出掛けます本社からの送迎支援もあります。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解して おり、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持 したり使えるように支援している	成年後見人様と予算を決めて、買い物に出掛けられるます。		

自	外		自己評価	外部評価	
己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙の やり取りができるように支援をしている	電話はかけたい時には、いつでもご利用できます。 ご家族や成年後見人様に自由にかけることができま す。ご家族から電話が入り話をされる方、手紙のや り取りをされている方もいます。		
52		○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様の大半はリビングで過ごしているため、リビングの大きな窓から自然と光が入り、日光浴ができています。季節にあった題材を選ぶことで工作等の創作物から季節感を感じてもらえるよう工夫しています。玄関、リビングには季節の花を飾っています。		
53		<ul><li>○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用 者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫を している</li></ul>	共有空間には食席のほかソファーや和室があり入居者様が思い思いの場所で過ごせるようにしています。テレビを観たり、新聞を読んだり、塗り絵やゲームをしたり、日々のお手伝いをしたりと、それぞれの時間を過ごしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室のレイアウト等は、個々の好みや馴染みの物が使用されています。寝具類や装飾品を好みの色で統一されている方、ご自分が落ち着ける空間なっています。居室ごとに、その人らしさが現れています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかる こと」を活かして、安全かつできるだけ自立した生 活が送れるように工夫している	リビング、廊下には物を置かず車椅子の方が自操しやすいようにし、テーブル席は出入りしやすい場所にしています。台所の外に設けているシンクを使い入居者様と職員が向かい合い調理や食器洗いをしています。各トイレには入居者様の状況に合わせ、手すりを増設しました。		

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム あんず

目標達成計画

作成日: 平成 24年 12 月 11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標	【目標達成計画】						
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間		
1	1	散歩・食事会・音楽療法・買い物以外室内にて過ご す時間が多い。少しの時間でもで外へ行く機会を 持てるよう職員の視点を変えていく必要がある	外の空気に触れて、入居者様、職員ともに気分転 換を図る	天気のよい日には、2.3人づつで公園や庭で、おやつやランチを楽しむ。外気や自然にに触れながら時間を過ごし、ゆったりした時間を入居者様・職員で共有していけるようにお取り組んでいく			
2					ヶ月		
3					ヶ月		
4					ヶ月		
5					ケ月		

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。